

学校教育目標 人とのつながりや心身の健康を大切にし  
これからの社会を創りだす子どもの育成

### 伝統と文化を受け継ぎ、地域と共に育てる

#### 学校運営協議会を核として

- ・地域素材（人・物）の活用  
（明德農園、脇の山、岩倉川、池、幼稚園、福祉施設、史跡・寺社等）
- ・学校見守り体制の強化  
（安心安全ネット、PTAとの協力等）
- ・学校支援ボランティアとの協力  
（見守り、図書、放課後まなび教室等）
- ・学校評価の効果的活用
- ・各種団体との協力  
（少年補導委員会、社会福祉協議会、体育振興会、女性会、老人クラブ等）

### めざす子ども像

- ～主体的に、思考・判断し表現する子ども～
- ・意欲的に学びとろうとする子ども
- ・人、物の出会いを大切にできる子ども
- ・仲間と共に、安心・安全な生活をつくる子ども

#### 平成29年度重点目標

- ・あそびが、はきめがそろえられる子ども
- ・意欲的に話し合い、思いや考えが交流できる子ども

### 個を生かす

#### 一人一人の子どもを徹底的に大切にする

- ・LD等支援の必要な子どもの学力向上
- ・子ども理解を第一に「子どもの困り」をとらえる
- ・保護者との話し込み
- ・課題の明確化・支援の具体化
- ・個別の指導計画の作成と活用
- ・支援体制の確立
- ・ICTの活用等、学習支援の充実
- ・ソーシャルスクールワーカー、スクールカウンセラーを活用した教育相談体制の確立

#### 「確かな学力」の育成に向けて

#### 学校教育目標具現化のために

#### 「豊かな心」の育成に向けて

めあてをもって仲間と学び合い、自己を見つめる子どもの育成  
～主体的、社会的な学びを通して、言語能力を育む～

#### ◎校内研究の充実…道徳の取り組みを核とした言葉の力の育成と意欲的に話し合える力の育成

- ・教科主任会をベースに、教科間のつながりや学年間の系統性を意識したカリキュラムを作成。
- ・統一した授業スタイル（明德スタンダード）を確立し、めあてや学習の出口を共有化し、意欲的に学習に取り組める授業づくりを推進。
- ・仲間と交流する時間を大切に、言語活動の充実を図る。
- ・決められた字数や大切にしたい言葉を活用した書きまめを取り入れることで、書く力の充実を図る。
- ・学力向上に向けて、学校と家庭との連携を深め、自主的な取組をめざした家庭学習の充実。（明德版家庭学習のすすめを各学年ごとに作成し、系統性を意識した家庭学習の取組を推進。）
- ・道徳の教科化にむけて、評価の指針や規準を明確にして、評価の方法を共通理解する。

#### ☆伝統文化教育の成果を生かす

- ・これまでの伝統文化教育の成果を今年度の取組に生かす
- ・「めいとく学習」の見直しと充実

#### ○読書活動の充実

- ・朝の帯の時間を活用しての読書タイム（火曜日・木曜日）
- ・学校運営協議会の委員会の方やPTAによる読み聞かせ
- ・岩倉図書館との連携
- ・学校図書館司書による図書館の整備や充実と授業における積極的な図書館の活用の推進

自他の命、生き方、考え方を大切にする心情とともに、規範意識の育成

#### ○人権教育の推進と道徳教育の充実

- ・さまざまな社会の人権課題に対して、正しく知り、課題解決に向けた取組に主体的に関わろうとする姿の育成
- ・道徳の教科化にむけて、価値やねらいを明確にした授業の展開と6年間の系統性の充実
- ・人権教育の年間計画の推進と横断的系統的な取組への見直し
- ・自尊感情を高め、互いの命、生き方、考え方を尊重しあえる子ども育成。
- ・教職員自らの人権意識を常に問い直し、人権意識の高揚を図る
- ・児童会活動の充実や、たてわり活動の推進を通して、人権意識の高揚につなげる。
- ・「にこにこデー」の設定を継続し、よりよい生活や人間関係を築こうとすることをねらいとした活動の意図的・計画的な取組実践
- ・全校で学びあう時間を共有
- ・学習したことをもとに、掲示版などを活用して全校への配信

#### ○感性と情操を育む体験活動の重視

- ・人や自然との出会いを大切にしたい体験活動の実施
- ・すぐれた芸術体験を通して、美しさやよさを味わう活動の充実

#### 「健やかな体」の育成に向けて

#### □「健康自立」に向けた基本的な生活習慣の確立

#### ☆健康教育の推進

- 保健教育や保健学習の系統立てた取組の確立
- 児童会活動の充実および主体的活動の推進
- 体力向上に向けた取組に推進
- 食に関する指導の充実と推進
- 食物アレルギー・アナフィラキシーに対する正しい知識の習得と適切な対応
- 薬物乱用防止教育の推進

#### ☆安全教育の推進

- 全児童が通学時に防犯ブザーを所持
- 下鴨警察署による1年生「交通安全教室」4年生「自転車教室」の実施
- 消防分団や左京消防署の方による6年生「救急救命学習」の実施
- 避難訓練（10回）の実施

#### ☆運動部活動を充実

#### 京都市の目指す子ども像

伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども

#### 平成29年度の重視する視点

子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を  
学校・幼稚園全体の教育活動の中で高める